

**2019年3月期 第1四半期決算説明会
主な質疑応答**

Q: 1Q計画に対する事業別の売上高遂行状況はどうだったのか。

A: ほぼ全ての事業が計画通りに進捗している。

Q: チェキの今年度販売台数予測を900万台から1,000万台に上方修正したが、その背景を教えてください。

A: 1Q販売実績は欧米など各地での販売が好調に推移し、175万台と計画を上回った。足元の好調さに加え、グローバルパートナーシップ契約を締結した「テイラー・スウィフト」さんを起用した大型プロモーションを、今後ワールドワイドで展開することで、更なる拡販が見込めると判断した。

Q: ドキュメントの減収要因について教えてください。

A: 売上は低採算のプリンタービジネスの縮小や、仕入れ商品販売のネット表示化などにより対前年で約150億円の減少となった。本件が営業利益に与える影響は軽微。

Q: Xeroxとの経営統合に関して現在の状況を確認したい。

A: 当社は富士ゼロックスの事業強化に取り組んでおり、Xeroxとの経営統合はbetterであるがmustではない。但し、当社が1月31日に発表した経営統合案が両社の将来にとって最適な選択肢であるという考えに変わりはなく、9月に始まる予定の上訴審にて、当社の主張を丁寧に説明していく。

Q: 1,000億円の自社株買いをこのタイミングで発表した背景について教えてください。

A: 今回の発表は中期計画の方針に則った決定であり、キャッシュ創出力及びその用途を勘案し、今年度1,000億円の自社株買いの実施を決定した。当社は2017～19年度の3年間で合計2,000億円の自社株買いを計画しており、昨年度は500億円実施済み。

以上